

隠岐病院放射線関連機器一式調達業務事業者選定  
公募型プロポーザルの選定結果について

隠岐病院における放射線関連機器一式の導入に関し、機器の調達等について自由提案により隠岐病院に適正なコストで最適な診断・治療環境を提案する事業者を選定するため次のとおり公募型プロポーザルを実施した。

1. 審査結果

最優秀提案者 富士フイルムメディカル株式会社 中国支社

2. 募集及び選定の経過

- |                 |   |
|-----------------|---|
| (1) 募集公告        | 令和7年3月31日(月)  |
| (2) 参加申請書提出期限   | 令和7年5月2日(金)   |
| (3) 参加資格審査結果の通知 | 令和7年5月9日(金)   |
| (4) プロポーザルの実施   | 令和7年5月19日(月)  |
| (5) 選定委員会の開催    | 第1回 令和7年3月18日(火)<br>第2回 令和7年5月7日(水)<br>第3回 令和7年5月19日(月) |

3. 参加申請団体

- 宮野医療器株式会社 米子営業所 (鳥取県米子市流通町158-19)
- 富士フイルムメディカル株式会社 中国支社  
(島根県松江市平成町182番地32)
- キャノンメディカルシステムズ株式会社 山陰支店  
(島根県松江市朝日町484番地16)

4. 選定の方法

(1) 選定委員会委員の構成

役職	氏名	備考
院長	徳家 敦夫	委員長
副院長	加藤 一朗	
看護部長	高村 浩美	
医療技術部参与	増谷 秀樹	
事務部長	山崎 章	
放射線科副科長	池田 和也	

(2) 提出書類の確認

申請団体からの提出書類については、公告に定める応募の資格等を満たし、適正に記載されていることを確認した。

(3) プレゼンテーション及びヒアリング

申請団体に対し、提案内容等について30分間の説明を求め、その後、各委員との間で15分間の質疑応答を行った。

(4) 審査内容及び結果

最優秀提案者 富士フイルムメディカル株式会社 中国支社

次点 宮野医療器株式会社 米子営業所

※詳細については別紙参照

5. 審査の総評

この度のプロポーザルへの参加者は、過去に当院へ医療機器納入実績のある3社からの提案であり、当院放射線関連機器の重要性、位置づけを十分理解され、最適な診断・治療環境の構築に向けた「本体及び付属機器の性能」「整備体制及びサポート・保守体制」「導入実績」など、また調達に関して適正なコスト等の提示があり、各評価項目に対して、当院が求める仕様基準を上回る提案が随所に見られ、3社ともに高いレベルの提案となった。

宮野医療器株式会社の提案は、最新の医療機器技術と当院のニーズを適切に組み合わせ、包括的かつ優れた内容であった。提案された機器は、高品質な画像診断機器の導入を可能にするもので、操作性と効率性を重視しており、医療現場の実情に即した設計となっていた。特に注目すべき点として、X線管移動時のパワーアシスト機能は、医療スタッフの身体的負担が大幅に軽減され、より効率的な検査実施が可能となるものであり、日々の診療業務における作業効率と快適性の向上に直結し、結果として患者サービスの質向上にもつながるものと高く評価できる。また、自由提案での感染症関連のオンラインサービスや遺伝子解析装置の導入提案は、当院の現状を的確に把握した上での提案であり、先見性が感じられ、当院の医療体制強化に大きく寄与する可能性を秘めたものであると評価した。

富士フイルムメディカル株式会社からの提案は、安全性と効率性を重視した革新的な医療機器システムの導入を中心としており、高く評価できる内容であった。提案されたX線透視撮影システムの撮影台完全固定方式は、寝台横移動による術者の手元の移動がなくなることで、医療従事者の安全性が大幅に向上し、より安定した検査・治療の実施が可能となり、医療事故のリスク低減にも寄与し、患者と医療スタッフ双方にとって有益であると言える。自由提案でのX線透視撮影システム(TV室②)への上位機種『CUREVISTA Apex』の導入は、当院の診断能力の向上に大きく寄与するものであり、上位機種でありながら全体の見積金額が3者の中で最も低くなっていた点も高く評価できる。また、CT・MRI・MMGが富士フイルムグループ会社の製品であることから、一貫した保守サービスの提供が可能である点も高く評価できる。

キヤノンメディカルシステムズ株式会社からの提案は、効率性、安全性、そして先進性を兼ね備えた包括的なものであり、高く評価できる内容であった。X線透視撮影システムは、コンパクトな設計となっており装置周辺の作業スペースを十分に確保でき、当院の運用効率向上に大きく付与するものとなっていた。FPD 関連システムにおける内蔵 AEC アシスト機能は、撮影台からパネルを取り出す撮影時でも AEC による適正な X 線量（照射時間）での撮影が可能となることで、患者安全と診断精度の向上の両面で大きな利点になると言える。また、自由提案での『CameraAssist 機能』の導入提案は、画像診断の質的向上と再撮影の低減に貢献する機能であり診断精度の向上と患者の被ばく低減、さらには検査時間の短縮が期待でき、総合的な医療サービスの質の向上に繋がると評価した。

3者それぞれに優位な点が見られ、審査は拮抗したが、審査結果のとおり総合的に評価を行った結果、総得点で富士フイルムメディカル株式会社を最優秀提案者と決定した。

採点集計表

				宮野医療器	富士フィルム	キャノン
		評価項目	配点	平均	平均	平均
1. 放射線関連機器本体 (性能評価)	① 一般撮影システムについて	1 X線高電圧発生装置は、定格出力は50kW以上であること。	80	73.0	73.5	64.8
		2 X線高電圧発生装置は、最大管電圧は150kV以上であること。				
		3 X線高電圧発生装置は、最大管電流は630mA以上であること。				
		4 天井走行式X線管保持装置は、立位撮影台及び臥位撮影台と上下連動が可能であること。				
		5 天井走行式X線管保持装置は、長手方向、短手方向の天井ケーブルはガイド内に収納され、垂れ下がりの生じない機構となっていること。				
		6 天井走行式X線管保持装置は、操作画面で管電圧、管電流の変更ができること。				
		7 天井走行式X線管保持装置は、操作画面で患者情報の表示が可能であること。				
		8 天井走行式X線管保持装置は、X線管保持装置の操作ハンドルに加えた力を検知し、操作力に応じて長手方向、短手方向、上下方向のモーターを制御することにより、軽い力でX線管の移動を可能とするパワーアシスト機能を有していること。				
		9 X線管装置の首振りやテーブル長手方向の移動に追従し、臥位撮影台の受像部が自動的に追従するブッキー連動が可能であること。				
		10 臥位撮影台の受像部は、回転機構を有し、回転角度は、任意の位置で使用できること。				
② X線透視撮影システムについて	1 透視撮影台はオーバーチューブ方式であること。	80	63.5	76.3	65.5	
	2 透視撮影台は完全固定方式として、X線管アームによる映像系の縦横移動が可能であること。					
	3 透視撮影台の奥行は173cm以下であること。					
	4 通常の透視とは別に、デバイスの視認性を高める透視機能を有すること。					
	5 透視撮影台の立位時・水平時・逆傾時に被検者を監視するため、X線管装置アームに天板全体を表示可能な監視カメラを有すること。					
	6 長尺撮影が可能であること。					
	7 嚙下造影検査が可能であること。					
	8 X線出力条件に連動し、散乱X線の分布をリアルタイムにシミュレーション表示する散乱X線分布表示機能を有すること。散乱X線分布は線量率と積算の表示切替や分布の床面からの高さ表示切替ができること。					
	9 X線TV室②の機器は、DICOM Q/R機能を有し、検査室内リファレンスマニターで、当院のPACS内の画像が参照可能であること。					
③ FPD搭載回診用X線撮影システムについて	1 保持アームはテレスコピック方式であること。	50	44.8	45.7	44.8	
	2 支柱は高さ127cm以下に収縮可能であること。					
	3 カテーテルの先端やガーゼ等の異物確認用画像強調処理を有し、ワンタッチで当画像処理のOFF/ONを行えること。					
	4 電子カルテからのオーダー連携を行うこと。					
④ FPD関連システムについて	1 画像検出器は間接変換方式のFPDであること。	50	45.3	44.2	43.8	
	2 シンチレータはCs(ヨウ化セシウム)を使用していること。					
	3 フルサイズFPDの重量はバッテリー重量を含めて2.3kg以下であること。					
	4 内蔵AECアシスト機能を有し、撮影台からパネルを取り出す撮影時でも、AECによる適正なX線量（照射時間）での撮影が行えること。					
	5 画像処理WSは、患者情報・オーダー連携を行うこと。					
2. 付帯提案について	1 一般撮影室①②、X-TV撮影室①②において壁紙の張替えを実施すること。	20	15.5	17.5	15.8	
	2 当院のHIS等とのDICOM MWM機能を有すること。また接続が可能なこと。					
	3 当院の線量管理システム（J-MAC）と接続すること。					
	4 既存電気設備等の施工作业については、他の医療機器への影響も考慮し、施工にあたっては十分に注意を払うこと。					
	5 機器および周辺装置の配線等は、当院の関係者と十分協議したうえで施工すること。また配線等は極力隠れる仕様に努めること。					
3. サービス体制・保守体制について	1 年間を通じて24時間体制の連絡体制が整備されていること。	50	40.8	44.7	40.5	
	2 障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有すること。					
	3 定期保守点検は日中業務に支障をきたすことのないよう、計画・実施すること。					
	4 保守に係る契約を締結する場合、適正な内容・価格での締結が可能であること（提案様式第5号）。					
4. 機器の導入について	1 今回の基本仕様書と同等の機能を有する機器の中国地方におけるメーカー納入実績（過去3か年分）を提出すること（提案書様式第3号の1）	20	13.0	19.0	16.0	
5. 整備スケジュールについて	1 早期の設置・本格稼働が可能なこと。	20	15.8	16.2	16.0	
	2 設置工事・日程に関して、当院の運用・業務に極力ロスがないようにすること。					
	3 搬入・排出・設置に関して、関係法令等が遵守されていること。					
6. サポート体制について	1 導入後、教育訓練・操作方法・アプリケーション使用方法を継続してサポートできる体制が可能なこと。	20	15.3	16.7	13.7	
	2 機器の設置及び更新にあたり、必要な申請や届出を実施できること。					
7. 自由提案	1 上記以外で、当院経営改善、患者サービス向上、検査運用等に対する提案（提案様式第2号の2）及び資料・説明の分かりやすさ等	60	41.7	51.7	43.0	
技術評価点			450	368.8	405.3	364.0
価格評価点			50	37.1	42.6	38.2
総合評価点			500	405.9	447.9	402.2